

よねざわ

第69号

発行／米沢市議会
米沢市金池5-2-25 ☎22-5111(代)
発行年月日／平成12・5・1

市議会だより



“今も残る江戸風ちょうちん”

神社や寺院、飲食店のほか、お盆の時期になると家々の軒先をちょうちんが飾る。

戦時中まで米沢に8人ほどいたちょうちん職人も、今では小野富男さん（中央1丁目）だけ。

小野さんが作る江戸風ちょうちんは、型に竹ひごを巻き、糸で固定して形を整えた上に和紙を張り、家紋や字を書いて油を引くのが行程だそうです。

祖父の下で見て学んだ技術を今後も、『職人の技』として受け継いで行ってほしいものです。



平成12年3月定例会

	ページ
◆ 3月定例会の総括	2
◆ 代表質問	3
◆ 一般質問	6
◆ 常任委員会の審査から	8
◆ 予算特別委員会の審査から	10
◆ 請願・スポット・あとがき	12



この市議会だよりは再生紙を使用しています。

324億5千万円を可決

— 対前年比0.7%の伸び —

平成一二年三月定例会は、一日から二三日までの二三日間の会期で開きました。

初日の本会議では、まず、人権擁護委員候補者の推薦に同意した後、市長から平成一二年年度の施政方針の説明が行われました。

これに対し、三日と六日には三派の代表質問と四名の議員による一般質問が行われ、議案六八件と請願四件を各委員会にそれぞれ付託しました。

七日には、総務・民生常任委員会を開き、八日には、産業文教・建設常任委員会を開き、議案及び請願の審査を行いました。

九日から二一日までの間に、予算特別委員会を七日間にわたり開き、補正予算七件については、九日に審査を行い、一三日の本会議で、原案のとおり可決しました。

また、新年度の各会計予算については、六日間にわたり一般会計予算（総額三二四億五〇〇〇万円）を中心に、特別会計一四件（総額二三億九三三四万五〇〇〇円）と事業会計三件（総額一〇九億八〇九八万三〇〇〇円）のあわせて一八件について審査を行いました。



最終日の二三日の本会議では、各委員長報告が行われ、議案についてはすべて原案のとおり可決し、請願五件（二二月定例会からの継続一件を含む）については、採択二件、不採択一件、継続審査二件となりました。

また、議員発議の意見書二件と市議会委員会条例改正案一件及び市議会会議規則改正案一件を可決しました。

最後に、助役及び収入役の選任に同意し、二三日間にわたる三月定例会を閉会しました。

議会カレンダー

▼1月▲

12日 各派代表者会

13日 議会議事幹事会

14日 市政協議会幹事会

15日 総務常任委員会

16日 民生常任委員会

17日 産業文教常任委員会

18日 建設常任委員会

19日 議会だより編集委員会

20日 市政協議会

21日 議会だより編集委員会

22日 佐賀市議会から視察

23日 1月臨時会

24日 各派代表者会

18日 産業文教常任委員会

23日 建設常任委員会

28日 市政協議会

30日 各派代表者会

31日 議会運営委員会

32日 各派代表者会

33日 議会運営委員会

34日 各派代表者会

35日 議会運営委員会

36日 各派代表者会

37日 議会運営委員会

38日 各派代表者会

39日 議会運営委員会

40日 各派代表者会

41日 議会運営委員会

42日 各派代表者会

43日 議会運営委員会

44日 各派代表者会

45日 議会運営委員会

46日 各派代表者会

47日 議会運営委員会

48日 各派代表者会

49日 議会運営委員会

50日 各派代表者会

51日 議会運営委員会

52日 各派代表者会

53日 議会運営委員会

54日 各派代表者会

55日 議会運営委員会

56日 各派代表者会

代表質問

「市政のここが聞きたい」

3月定例会では、3日に3会派の代表質問、6日に4名の議員が一般質問を行いました。

詳しくは6月に会議録ができますので、議会事務局、情報公開コーナー(4階)、市立図書館でお気軽にご覧ください。

新政会



広域化・広域合併を

どう進めるか

新政会代表 大木 三男 議員

地方行政体制の整備、確立のため、総合的、効果的な運営を実現し、各自治体の行財政能力向上を図ることから、広域化・広域合併を進めるべきと思うかどうか。

〔市長〕広域行政として既に進めている事業もあり、広域合併は時代の潮流とも受け止めていますが、各自治体の歴史的経緯・地理的条件、財政力の相違等々を考えますと、幾つかの方法があり、投げかけながらフリー討議を経て、まず土壌づくりに入り慎重な配慮をもって事を進めたいと考えております。

平成一三年は世界各国始め世紀の祭典が行われようとしており、米沢市においてもこれ以上の条件が無いとおもわれるべく「上杉鷹山生誕二五〇年祭」開催に伴っての準備年度に当たることについて。

〔市長〕世紀の祭典にふさわしく、盛大な祭りの年にするべく、昨年から来年の準備に向けて、

委員二五〇名による膨大な未来づくり委員会を設立し基本構想が策定され、雪灯籠まつりをスタートに、又、通年の四季の祭りを、ボリユームアップして力を入れ、さらに五月には、米沢開催で城下町サミットがあり、一〇月には、生涯学習フェスティバルがあり、今後もできるところを年間行事に明確にカウントしながら進めていく考えです。

中心商店街活性化

基本計画を実行性のあるものに

あるものに

定住人口の移動、車社会に伴って中央商店街の衰退は全国的な問題となり、本市も同様で有ることから、中央商店街活性化基本計画を実行性のあるものとしていく必要があるが、今後どのように進めていくのか。

〔市長〕三月末には答申案が出今後は、国に基本計画を提出しなければなりません、民間の投資やら経費にかかわる部分の

比重が当然にして多いことから、可能かどうかについて精査をし、地に足を付けた実施可能な計画にしたいと考えております。なお、関係機関と一年位話し合いをしながら進め、形が見えるようなものに絞り込んでいきたいと考えております。

独立して生活するには不安であるが、生活相談、指導・援助があれば自立できる高齢者世帯つき公営住宅(シルバーハウジング)構想と介護保険にむけて、各種苦情への対応をどのように考えておられるのか。

〔建設部長〕今後予定をしております塩井の住宅につきましては、詳細設計が出ていない段階であります。敷地の関係から、高層建築物にならざるを得ません。当然ながら、高齢者対応のエレベーターも絶対的に必要であります。又、施設とか設備についてはソフト面はもちろん、福祉サイドと綿密な連携をとり、生活の指導あるいは相談、緊急

時の対応として、ライフサポーターアドバイサー(生活援助員)を設置し、福祉相談員の方を配置しながら、ご不自由なく市営住宅で生活ができるように配慮した住宅に向けて検討しております。

〔健康福祉部長〕認定の不服等については県の介護保険審査会が、サービスの苦情については県の国民健康保険団体連合会が受け付けますが、対応マニュアル等を作成して、市に「相談窓口」を設置して対処していきたいと考えております。



高齢者向け対応が望まれる市営住宅 塩井町団地



上杉鷹山公誕生250年祭 記念事業の内容は

緑新会

緑新会代表 菊地 富蔵 議員

平成一三年、上杉鷹山公誕生二五〇年祭記念事業として一過性のものではなく、心に残るような事業をすべきと考えるが、その内容は、

〔市長〕四季の祭りを始め、毎年実施しております事業については、ポリウムアップして、さらに城下町サミット、生涯学習フェスティバルなど盛大に実施したいと考えております。また、一過性のものではなくというところでありますが、やはり平成一三年のお祭りでありたいと思っております。しかし、観光や人口交流という点では、その後の広がりも期待し、そうありたいという認識で取り組んでまいります。

上杉鷹山公と細井平洲先生とは切っても切れない関係にあると考えております。そこで、愛知県東海市から本市と姉妹都市提携をしたいという話があるようですが、その考えは、

〔市長〕姉妹都市、歴史親善友好都市も含め、交流は何かと言えば、歴史的経緯に基づくものであり、細井平洲公あつての上杉鷹山公であるために、東海市の市制式典等に私も出席し都市交流を深めておりますし、市民交流も姉妹都市以上のものを続けております。言いかえれば、

熟度は高まってきていると思っておりますので、何とか議会のご同意がいただけるならば、次の姉妹都市、歴史親善友好都市として東海市を選び、近々中に予備交渉を開始したいと考えております。

本市における公共下水道事業、農業集落排水事業及び公共事業区域外の地域における補助事業としての合併処理浄化槽の三段階で、快適な市民生活が営まれるよう努力されていきますが、それら事業の今後の計画は、

〔建設部長〕公共下水道事業については、平成一二年年度からは、東部地区の国道二一〇号線より北側、二九八haの整備を予定しております。

また、農業集落排水事業については、成島地区の後、南原の関地区を予定しております。

さらに、合併処理浄化槽については、平成一二年年度も継続事業として一三〇基を予定しております。

オフィス団地 企業誘致活動の 状況は

オフィス・アルカディア事業について、平成一二年年度分譲開始がされようとしており、新た



分譲が開始されるオフィスアルカディア

な業務施設機能の集積が期待されるわけですが、企業誘致活動とその状況は、

〔産業部長〕平成九年四月にオフィス・アルカディア推進課を設置し、現在まで二四〇社、延べ四八〇回の企業訪問を行ってまいりました。多くの企業を訪問する中で、前向きなお話をいただき、引き続き訪問をしていく企業も二〇数社ございます。

企業からは、進出地域における人材の確保や研究開発への技術支援などが求められており、これらの支援が企業誘致を促進するためのセールスポイントでありますので、今後とも、企業ニーズにあわせた産学官の支援体制をとってまいりたいと考えております。

3月定例会で
次のことが
決まりました。

- 人権擁護委員候補者の推薦
- 市有財産（米沢駅東駅前広場用地）の取得
- 米沢市行政手続条例の一部改正
- 米沢市統計調査条例の一部改正
- 米沢市市民バスの設置及び管理に関する条例の一部改正
- 米沢市防災会議条例の一部改正
- 米沢市職員定数条例の一部改正
- 米沢市一般職の職員の給与に関する条例の一部改正
- 米沢市技能職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部改正
- 米沢市財産の交換、譲与、無償貸付等に関する条例の一部改正
- 米沢市基金の設置、管理及び処分に関する条例の一部改正
- 米沢市市税条例の一部改正
- 米沢市地方拠点都市地域における固定資産税の不均一課税

行財政運営について

市政クラブ代表 川野 裕 章 議員



時代にそぐわない手当や、必要な補助金は見直す時期だと思われるがどうか。

〔総務部長〕特殊勤務手当の創設当時の状況と異なってきたため、見直しを図るべく職員組合との協議を開始したところであり、平成一二年年度の市単独補助金は一八四件で五億七〇〇万円ほどになっておりますが、スクラップ・アンド・ビルドを基本としながら標準財政規模の二・五％をこえることがないよう今後も個別に判断してまいりたいと思います。

行財政改革の実績と反省点は、〔総務部長〕一七項目中一五項目につきましては既に実施しておりますが、外郭団体の整理と、公共施設の管理運営については未対応であり、新たな行財政改革大綱の中で検討してまいりたいと考えております。

広域合併の時期及びその手法は、

〔市長〕国の方針では二〇〇五年をめどに進めていくようです。平成一二年年度中に、デスクランを策定し、タイミングを見て首長の話し合いの場を作り、又、各自治体議会会長の交流と意見調整を進めてまいりたいと思います。

分権に対応した人材育成策は、〔市長〕今の行政で市政はいいのかという議論を含めた勉強会や、研修会を行いながら、意識の啓発を進めてまいりたいと思います。

市税の減収が見込まれているが、本市の対応策は、

〔総務部長〕県下最低の収納率向上が一番の課題であり、悪質滞納者に対しては、小田原市や福岡県等の事例も参考にしながら検討してまいりたいと考えております。

雪に強いまちづくりの検討を

雪に強い快適なまちづくりの観点から、米沢独自の消雪システムの検討は、

〔建設部長〕下水道管の中の熱を利用した融雪システムの検証実験を行う予定があり、又、年間約七〇〇万㎡以上放流している下水処理水につきましても逆走させての再利用等も将来的には検討してまいりたいと思います。

中心市街地活性化のための実効性、具現性のある施策とは何か。

〔企画調整部長〕市街地の整備改善を行政側が示すと同時に民間サイドからも具体的プログラムが出されることが重要であり、ますので注視してまいりたいと思います。

CATV網の有効活用と、情報セキュリティ対策は、

〔企画調整部長〕今年度は郵政省の委託事業として、米沢市、南陽市、高島町、川西町で、住民票や印鑑証明書の広域交付の実証実験などを行う。又、不正アクセスに対しては、ファイアウォール装置を設置する等して万全を期していきたいと思

市街地循環バスの見直しは、

〔企画調整部長〕平成一三年度には、乗合バス事業の大幅な規制緩和が予定されているため、平成一三年度後半ごろからの運用実施を目指して、来年度は市街地循環路線の検討作業に入りたいと考えております。



- 米沢市手数料条例の設定
- 米沢市特別会計条例の一部改正
- 米沢市印鑑条例の一部改正
- 米沢市国民健康保険診療所勤務医師に対する旅費支給条例の廃止
- 米沢市福祉事務所設置条例の一部改正
- 米沢市児童福祉施設設置条例の一部改正
- 米沢市児童センター使用料条例の一部改正
- 米沢市国民健康保険条例の一部改正
- 米沢市国民健康保険税条例の一部改正
- 米沢市市場の設置等に関する条例の一部改正
- 米沢市環境基本条例の一部改正
- 米沢駅前駐車場の設置及び管理に関する条例の一部改正
- 米沢市自転車等駐車場の設置及び管理に関する条例の一部改正
- 米沢市教員養成奨学金給与条例の廃止
- 米沢市青年学級に関する条例の廃止
- 米沢市農業委員会農地部会等の定数に関する条例の一部改正
- 米沢市市営土地改良事業分担

一般質問

次の四名の議員が質問を行いました。

医療も介護も受けられるよう

国保税の引き下げを

白根澤 澄子 議員



国民健康保険税の滞納世帯の実態と国保給付基金の保有額は、

〔健康福祉部長〕平成一〇年度

で累積滞納世帯二二一七、滞納額六億四〇二一万円、滞納率二四・二％となっています。滞納

原因は借金・破産世帯二六・八％、低所得世帯二五・一％、事

業経営不振世帯一三・三％で、滞納世帯全体の六五・二％を占めています。

基金の保有額は、平成一〇年度末で一三億二二三三万円です。

国保財政を脅かす、基金の投入が必要な事態が過去にあったのか。米沢市の一人当たりの基金保有額は、平成一〇年度四万五五一四円だが、平成六年度並みにすれば一人当たり五〇〇〇円の引き下げが可能だ。基金を取り崩して国保税を引き下げれば、収納率が上がり、医療も介

護も受けられない人を生み出さないのではないか。

〔健康福祉部長〕急な医療費の増加を想定して、国保財政の安定を図るために基金を積み立て

ています。国民健康保険を取り巻く環境が今後ますます厳しくなると予想され、国保税の引き

下げを直ちに実施することは困難があるものと考えています。

ダイオキシンの発生をおさえるため、塩化ビニール製品の焼却はやめるべきだ。塩ビを含む

プラスチック製品はすべて不燃ごみとして回収すべきでは。

〔市民環境部長〕食品が付着したものは、週一回の不燃ごみ収

集では家庭の衛生面で問題があると考え、千代田のクリーンセンターはダイオキシンの発生を

極力低く抑えられていることもあり、可燃ごみとしました。

私立高校生授業料補助金の増額を

高橋 壽 議員



私立高校に通学する生徒の授業料補助金は増額する必要があります。と思うがどうか。

〔教育長〕県の補助金と合わせて利用すれば、合計額で県立高

校と同等程度の授業料は納められる額になるよう配慮された額が、年額三万円です。増額する

考えはありません。

生活保護世帯の生徒が進学した場合、県立の授業料は全額減

額になる。しかし、私立の場合は、減額制度もなく、県と米沢市の補助金を合計し、さらに社

会福祉協議会の貸し付け制度を利用しても授業料は払えないのが実態。増額すべきでは。

〔教育次長〕増額するかどうかは、県の補助金の動向を見ながら、今後検討すべきものと考えています。

介護保険実施直前だが、特老ホームベッドが足りず待機者がいる。特別養護老人ホームの増設は緊急の課題だがどうか。

〔健康福祉部長〕目標ではあと



4月1日からオープンした
特老ホーム「おいたまの郷」

一一〇床のベッドを増やす必要があります。四月一日から特老ホームが一カ所開設し、五〇床のベッドが増えます。残る六〇床のベッドは平成一四年にさらに特老ホームを建設し増やす計画にしているところであります。

介護保険制度が始まる平成一四年までは、特老ホームを利用したくても断られることになるのか。

〔健康福祉部長〕それまでは、ホームヘルパーやショートステイなど在宅介護を活用していただくこととなります。

- 金徴収条例の一部改正
- 米沢市農林水産業施設災害復旧事業分担金徴収条例の一部改正
- 米沢市市営食肉市場条例の一部改正
- 米沢市道路占用料徴収条例の一部改正
- 米沢市都市計画審議会条例の設定
- 米沢市都市公園条例の一部改正
- 米沢市下水道条例の一部改正
- 米沢都市計画下水道事業受益者負担に関する条例の一部改正
- 米沢市市営住宅条例の一部改正
- 米沢市火災予防条例の一部改正
- 米沢市水道事業等の設置等に関する条例の一部改正
- 米沢市水道給水条例の一部改正
- 平成一一年度米沢市一般会計補正予算・三特別会計補正予算・三事業会計補正予算
- 平成一二年米沢市一般会計予算・一四特別会計予算・三事業会計予算
- 米沢市高齢者生活支援条例の設定
- 米沢市介護保険条例の設定
- 市有財産（工芸品）の取得
- 米沢市助役の選任につき、そ

地方が国をリードするという政治を



佐藤伊左工門議員

分権自治がスタートしました。

米沢市の魅力と特色をいかに世に発信するか、都市間競争の激しくなる中において自治体は、まさに自己決定・自己責任・自己負担の能力が問われることになりました。職員の資質を高め市民自治を推進していくには市長の新たな決意が必要であると思ふがどうか。

【市長】市民参加という時代の流れは直接民主主義です。米沢市の事業執行についても議会はもちろん、市民関係者・学者知識人などでテーブルづくりをしており、より広く住民自治がとり行われるようにしたいと思います。

行政の事務・事業やいろいろな政策について、費用が有効に使われてその効果があがっているかどうか達成状況も含めて評価測定する「行政評価」制度を米沢市も導入すべきであると思うがどうか。

〔市長〕たゆみなく適切に新時代の施策は検討しながら推進し



たいと思います。

米沢駅東地区における開発整
備事業の進め方とその完成年度
予算規模について、又、産業の
振興、交通交流の促進など都市
環境の形成と位置づけについて
はどうか。

〔建設部長〕 駅東における事業規模と完成予定については、駅東広場が一六億六〇〇〇万円、平成一六年度完成予定です。駅東南北一、二号線及び東西一、二号線合わせて二二億八〇〇〇万円となり平成一八年度完成予定です。総額は東西二号線も含めて四〇億五〇〇〇万円となる予定です。



高橋義和議員

個人情報保護条例の制定はいつか

本市でも行政事務がコンピュータ処理されているが、市民の個人情報保護を適切に保護するため早急に個人情報保護条例を制定する必要があるが、どこまで検討が進んでいるか。

また、個人情報流出等の問題が発生しないように、データ管理に万全の対策を講じる必要がある。庁内のセキュリティ対策はどうなっているのか。

【総務部長】昨年六月に米沢市個人情報保護制度市民検討委員会を設置いたしました。七月末頃に答申がいただければ、九月定例会での条例制定を予定しています。

セキユリティ対策については、専用回線で外部からアクセスできないようにし、パスワードを入力しないと稼動しないようにもしたいと思っています。さらに、端末ごとに使用できる業務を制限いたします。

近隣一市二町から米沢市への通勤・通学者は八〇〇〇人を数え、逆に米沢市から近隣市町へ



諸証明の広域発行の検討を

の通勤・通学者は約二〇〇〇人

生活圏・経済圏が広域化し、行政サービスもより便利なサービスが求められている。住民票などの諸証明書の発行を近隣自治体と連携して広域で交付サービスを行う実施の見通しはどうか。

〔企画調整部長〕二市二町の異なる住民情報システムを共通様式化にしなければなりません。

また、発行する証明書を誰が
 認証していくか。それから手数
 料の統一化などの法的・事務的
 問題の検討も必要です。

協議を続けて早く実施できるように努力してまいります。

1 月臨時会

1月臨時会を1月26日に開催し、次の議案を審議し、それぞれ原案のとおり可決しました。

- 専決処分事件の報告
- 平成11年度米沢市一般会計補正予算（第6号）
- 平成11年度米沢市下水道事業費特別会計補正予算（第3号）

の同意を求める
米沢市収入役の選任につき、
その同意を求める

以上の議案は、すべて同意
原案可決されました。

常任委員会の審査から

三月七・八日に開かれた
常任委員会から、主なもの
をお知らせします。

総務

▼市有財産（米沢駅東駅前広場用地）の取得について

本案は、新たに整備を予定しております米沢駅東駅前広場の用地として一万㎡を米沢市土地開発公社から二億四六六一万八〇〇〇円で取得しようとするものです。

〔委員〕用地取得の手法と登記のあり方は。

〔財政課長〕本議案が議決の後土地開発公社が平成一一年度中にJ.Rから土地を取得し、平成一二年度からの四年間で市が土

地開発公社から購入することになるものですが、登記については、J.Rから米沢市に直接一括登記することになるものです。

〔委員〕経費の内訳と、この度取得する用地の南北部分についての用地取得計画は。

〔財政課長〕取得予定価格の二億四六六一万八〇〇〇円については、用地費として二億三八〇〇万円、四年分の利子として八六一万八〇〇〇円を計上しているものですが、最終的な取得価格については、毎年利率が変更になることから最終年度に変更を要するものと考えています。

また、南北部分についての用地取得計画については、南北部分のいずれの用地にも支障物があることから、まず南側用地を支障物の撤去後に取得し、その二、三年後に北側用地についても取得していきたいと考えています。

民生

▼米沢市児童福祉施設設置条例の一部改正について

本案は、館山児童遊園が来る四月一日から供用開始できる運びとなったことから、本施設を児童厚生施設として設置するとともに、児童養護施設であります興望館について、その管理を社会福祉法人緑成会に委託しようとするものです。

〔委員〕興望館の委託後における職員体制と経費節減の見通しは。

〔社会課長〕現在、興望館にお



民間委託となった興望館

で約五〇〇〇万円程度が節減される見込みです。

▼米沢市高齢者生活支援条例の設定について

本案は、来る四月一日から介護保険法が施行されるに伴い、介護保険制度を円滑に実施する一方、高齢者の生活環境の急激な変化を緩和するため、市独自の事業として、介護保険で非該当の認定を受けたものの、高齢のため家事等の支援が必要な方にホームヘルパーの派遣を、また、介護保険の訪問介護までは必要としないものの、日常生活上の軽易な支援が必要な高齢者の方に生活援助員の派遣を実施し、高齢者福祉の向上を図るため、新たに条例を設定しようとするものです。

〔委員〕手数料の減免規定は。

〔福祉課長〕手数料の減免は、低所得者に対する負担軽減対策

であり、その内容は介護保険施行前一年間の間にホームヘルプサービスを受けていた方の中で、生計中心者が非課税世帯の方に對して利用料の軽減を図るものであり、その軽減率は、三年間に限り、三〇程度になるとともに、生活保護世帯については手数料が免除されます。

〔委員〕生活援助員が派遣される場合の具体的な支援作業内容は、

〔福祉課長〕具体的には、散歩の付き添い、家の周りの清掃、家屋内の軽易な修繕、備品取り付け、目の不自由な方に対する朗読、不良品の排出、その他軽易な日常的生活上のサービスなど六項目を検討しています。

産業文教

▼米沢市市営食肉市場条例の一部改正について

本案は、市営食肉市場の改築に伴い、新たに車庫倉庫使用料の設定を行うとともに、同市場

の健全な運営を図ることから使用料の額を改定するものです。

〔委員〕使用料の積算根拠は、また、使用料の改定が解体手数料等の値上げにつながらないかどうか。

〔農林課長〕今回設定及び改定する使用料については、減価償却費を基礎として算出したものであり、なおかつ、他市場における使用料との均衡を考慮して決定したものです。

また、と畜場の手数料等の改正については県の認可が必要であり、食肉市場使用料の改定が、と畜場を利用する畜産農家へ転嫁されることはありません。



増改築がなされた食肉センター

▼市有財産（工芸品）の取得について

本案は、尾張徳川家から上杉家に譲り入れた際の大名婚礼調度の一部である漆工品三件、五点について、本市の博物館所蔵資料として取得しようとするものです。

〔委員〕当該工芸品の展示効果は、

〔新文化施設開設準備課長〕このたび購入予定の工芸品は、蒔絵の技法から、江戸時代中期の作と判断され、同様同種の資料と比しても、優れた作域を示し、資料展示としてのみならず、美術展示としての展示効果も極めて高いものと評価しています。

〔委員〕価格の妥当性は、

〔新文化施設開設準備課長〕これらの工芸品については、資料収集委員会で購入が承認されたものであり、価格については、複数の専門家の鑑定を求め、いずれも最も低い鑑定価格により購入しようとするものであり、妥当な価格であると認識しています。

〔委員〕今後の資料収集の必要性は、

〔新文化施設開設準備課長〕新博物館の資料収集に関しては、展示替えを行うためにはまだまだ展示資料が必要であり、引き続き、資料収集に努める必要が

あります。

建設

▼米沢市下水道条例の一部改正について

本案は、下水道法の一部改正に伴い、除害施設の設置に関する汚水の基準の項目にダイオキシン類を追加するとともに、地方分権一括法の規定により地方自治法の一部が改正されたことに伴い、過料の規定について改正を行うとするものです。

〔委員〕本市における下水道への排除基準に基づく特定事業所数及び事業所からの放流水に対する検査実施のあり方は、

〔下水道課長〕排除基準に基づく特定事業所として届出がなされている事業所は四四件であります。

また、放流水に対する検査実施のあり方については、これら事業所に対し、月一回の水質検査の実施を義務付け、報告を受けているところであり、この報告を精査し、排水基準をオーバ

ーしている場合は、改善命令を行うなどの行政指導を行っております。

〔委員〕事業所に対し水質検査の実施を義務付けているものの、行政独自の立ち入り調査の実施を行っているのか。

〔下水道課長〕立ち入り調査については、対象事業所について三ヶ月に一回、抜き打ち的に実施しております。



●おわび● 申し上げます。

前号に誤りがありましたので、下記のように訂正させていただきます。

表紙の説明で

安永 8 年 (1799) → 安永 8 年 (1779)

平成12年度予算を中心に 25議案を審査

一般会計

特別会計

事業会計

予算特別委員会は7日間にわたり開催し、平成11年度補正予算7件と平成12年度当初予算18件（一般会計1件、特別会計14件、事業会計3件）のあわせて25件を審査し、原案のとおり可決すべきものと決まりました。

その審査の中でありました平成12年度予算における質疑の主なものをお伝えします。



民間へ全面移管予定の城南乳児保育園

城南乳児保育園の 運営は

〔委員〕今まで市が運営を行ってきた城南乳児保育園の建替えに伴って、民間への運営を予定しているようであるが、その運営の方法は。

〔社会課長〕現在の城南乳児保育園は平成一三年の三月をもって廃止し、同年四月から徳町地内に新しい乳児保育園としてスタートしたいと考えております。運営の方法については、今まで社会福祉協議会に委託をしておりますが、平成一三年四月からは社会福祉法人仏教興道会に運営を全面移管して行きたいと考えております。

〔委員〕風邪をひいた面会者や見舞い人を通じて、入院患者が風邪に感染するケースが懸念されるが、こうした院内感染に対する防止策はどのようなになっているのか。

〔病院事務局長〕面会やお見舞いのため来院される外来者については、各病棟のナースステーションにおいて面会申し込み時に外来者の風邪の症状をチェックしております。

又、病院内で感染症が発症した場合には、感染症委員会において、個室への完全隔離などの措置が決定されて、院内感染の拡大の防止が図られております。

介護認定の 結果と状況は

〔委員〕これまでになされた要介護認定の申請件数と当該申請に基づく要介護認定の判定の結果はどのような状況となっているか。

〔国保介護課長〕昨年の一〇月から開始された要介護認定の申請受付の件数については、三月末で二二八〇件ほどとなっておりますが、申請後に死亡された方もあることから認定調査を要する方の人数は二一五〇人程度となっております。

このうち、既に一七一八名の方々にについて、要介護認定に関する判定が終了しております。その判定の結果は、要支援の方が約一二％、要介護度一の方が約二三％、要介護度二が一四％、要介護度三が一二％、要介護度四が一五％、そして要介護度五の方が一五％となっております。

このように申請された方のうち、九五％の方が介護保険の給付対象者と認定されて、四月から介護保険サービスを受けることとなりました。

なお、要介護と判定された方には介護度に応じたケアプランの作成が行われますが、具体的ケアプランの作成が遅れた場合でも、介護給付の適用は四月一日の制度開始の日まで遡りますので、心配はいりません。ケアプランの確定までの間は、暫定プランによるサービスを実施することも可能であります。

〔委員〕介護保険制度の開始に対応するため民間介護サービス会社の新規参入が増加している状況があるが、そうした介護サービス事業者に関する情報の提供はどうなっているか。

〔国保介護課長〕県の指定を受けた介護サービス事業者の事業所名や各種の事業内容などについては、各介護施設等の介護支

援事業者に対して周知の徹底を図っていることから、要介護者の家族の方からケアプランの相談があった際に、利用できる介護サービス事業者情報が提供されて利用事業者の選択が可能となっております。

又、一般市民の方々には、指定事業者が出揃った段階において市の広報に掲載する予定であります。

〔委員〕救急体制の整備に関連して、『救急救命士』の配置状況及び今後の養成の予定はどのようなになっているのか。

〔消防署長〕救急救命士については、現在本署に四名、東部分署に二名、出張所に一名の計七名の有資格者を配置しております。今後の養成計画につきましては、高規格救急車を配備した救急隊の編成を見込みながら一五名体制の整備を目指すことを考えております。

〔委員〕陸上競技場の総合運動公園周辺への新設移転については、どのような予定となっているのか。

〔企画調整部長〕当面は、現在の陸上競技場を活用するためグラウンド及びスタンドの改修工事を行い、第二種の公認競技場の認定を受けることを目指して

おります。

一方、陸上競技場の新設の課題につきましては、総合運動公園北側用地の活用を前提にして平成一四年度の段階に新設整備の手法及び財源確保のあり方等について調査研究する予定となっております。

ペットボトルの 分別収集の対応は

〔委員〕容器包装リサイクル法の施行に伴い分別収集を行っているわけであるが、ペットボトルに係る分別収集の状況は。

〔環境生活課長〕容器包装リサイクル法について本市では、平成九年の一〇月から、実施しておりますが、ペットボトルについては、収集、分別、保管、再商品化業者が引き取りることとなっておりますが、引き取りの状況が非常に悪いこと、近くに再生するための処理する施設が見当たらないことから、ペットボトルの収集については手がけておりません。

平成一三年度実施に向けて検討してまいります。

〔委員〕先ごろ、『米沢市中心市街地活性化基本計画』の中間報告が公表されましたが、その

うち商業・業務の課題の部分及び観光・文化・交流の課題の部分にあげる主な内容はどのようなものか。

〔企画調整課長〕まず商業・業務の課題としては、魅力的な商店街の形成と中心部の核の形成を具体的な二つの課題としております。

これらの課題を達成するには道路などの都市基盤の整備と併せて商業の活性化が一体的に進められることが大きなこととなります。特に核となる商業店舗が形成できるかどうか極めて重要なポイントとなっております。

次に観光・文化・交流の課題につきましては、松が岬公園の周辺に歴史文化の拠点施設が整備されることから歴史と伝統を感じ観光を楽しむまちづくりを目指しております。

〔委員〕ごみ収集の有料化に伴うごみの減量化はどのような状況になっているのか。

〔環境生活課長〕昨年四月のごみ収集有料化の開始以降におけるごみの収集及び直接搬入の状況は、次のとおりであります。

本年二月末の比較では、対前年比で一般家庭から出る可燃性ごみは六・一％の減、不燃性ごみが二七・四％の減、これに對

して事業所から処理場に直接搬入される可燃性ごみは二四・二％の増、不燃性ごみが一五・八％の増となっております。

一方、資源ごみが六三％も増加している状況もあることから、これまでは可燃性のごみとして出されていた古新聞、雑誌類や不燃性ごみとして収集されていた空き缶や空き瓶が資源ごみとして分別されているためと判断されます。

なお、事業所分の直接搬入量が増加したのは、従来の一般収集の部分で直接搬入の部分に移行したためと分析しております。

特別養護老人ホームの 整備計画は

〔委員〕今後の特別養護老人ホームの整備計画はどのようなものか。

〔福祉課長〕特別養護老人ホーム等の整備につきましては、『米沢市総合保健福祉計画』に基づいた整備をすすめております。

現在の整備目標数は三八〇床ですが、本年四月から新たに『おいたまの郷』五〇床が開設されることとなりました。残りの六〇床分につきましては平成一四年度に民間福祉法人による開設を見込んでおります

が、先のおいたまの郷の場合と同様に施設建設の補助を行うこととなります。

〔委員〕ＪＲ米坂線太田町踏み切り部分について拡幅できない理由として、市は現時点で都市計画道路の整備との関わりで二重投資となること、市単独事業での整備となることから、予算上の問題があるとのことであるが、その後の状況は。

〔土木課長〕変更できない理由としては指摘のとおりでありますが、都市計画道路整備との関わりについては、南部土地地区画整理事業との関わり、又、ＪＲでは出来るだけ踏み切り部分を少なくしていきたいという考えもあるようですので、今後、ＪＲと協議を行いながら対応して行きたいと考えております。



拡幅要望のあるＪＲ米坂線太田町踏切

3月定例会で審議した請願の結果は次のとおりです。

請願

採 択

- ◆国立大学の独立行政法人化に反対する意見書提出に関する請願

(米沢市城南四丁目3-16 山形大学職員組合工学部支部支部長 山口峻司)

- ◆雇用安定創出を求める意見書提出方請願

(山形市香澄町二丁目9番40号 日本労働組合総連合会山形県連合会会長 後藤 潔 他1名)

継続審査

- ◆「乳幼児医療費の国の無料化制度確立と県制度の年齢拡充を求める」意見書提出方請願

(米沢市塩井町塩野2007 新日本婦人の会 米沢支部代表 玉虫ナミ)

- ◆年金制度改善についての意見書提出方請願

(米沢市門東町二丁目3-27 全日本年金者組合置賜支部 委員長 島津 昭 外1名)

不 採 択

- ◆県内小中学校において少人数学級を早期に実現することを県当局にたいして要請する請願

(米沢市大字築沢1972番地 三十人学級を実現する米沢市連絡会世話人 情野貞一)

意 見 書

3月定例会最終日に議員提出の意見書を議決し直ちに関係機関へ送付しました。

- ◆国立大学の独立行政法人化に反対する意見書

(内閣総理大臣、文部大臣、総務庁長官あて)

- ◆雇用安定創出を求める意見書

(内閣総理大臣、総務庁長官、自治大臣、労働大臣、通商産業大臣あて)

スポット

会津北部・置賜南部 交流推進シンポジウムに参加

平成四年の国道一二二号大峠道路の開通によって、会津地方・置賜地方の新たな交流・連携が始まりました。このことは南東北、さらには北陸や関東へもつながるもので、今後の発展が期待されています。

こうした期待を実現させるためにも、観光のみならず、産業・文化・物流・防災といった多面的な交流、連携を推進する必要があります。

このような観点から、去る三月二四日、米沢市・熱塩加納村・北塩原村・喜多方市の二市二村が広域的に連携し、地域の活性化を図る目的で、熱塩加納村民会館で「まちを結び人が出会う交流・連携」をテーマとし、シンポジウムが開催され、当市議会から八名の議員が参加しました。



あとがき

桜の開花も少し遅れましたが、若葉の芽吹く季節となりました。この冬は暖冬から一変しての豪雪となりましたが先人のことばに「大雪に不作なし」と言ういい伝えがあります。

豊作の予兆であれば喜ばしい事なのですが、雪不足の中の「雪灯籠まつり」が終わってから大雪に見舞われました。

これは何ともならない自然現象のことですが、米沢市の行政運営の上ではこのような食い違いは許されたいことです。

我々米沢市議会は行政運営での失敗がないように市民の皆さんに代わってしっかりと市行政を批判・監視していかなければなりません。

この議会だよりが皆様のお手元に届く頃には桜吹雪となっていることでしょう。

A・Y

